

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり>（毎月決算型、年1回決算型、奇数月決算型、予想分配金提示型）
 <為替ヘッジなし>（毎月決算型、年1回決算型、奇数月決算型、予想分配金提示型）
 追加型投信／内外／株式



特別レポート

不確実性の高い相場にどう向き合うか

当レポートの構成

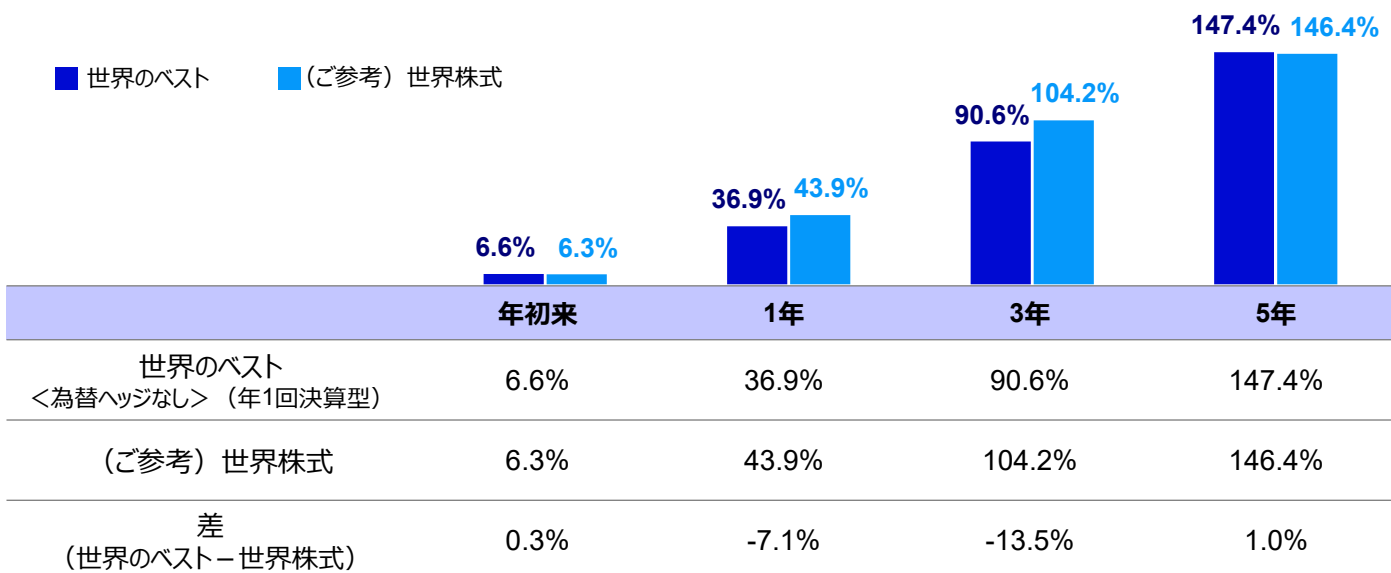
- ① 「世界のベスト」の過去5年間のパフォーマンスの状況...P.1～3
- ② 不確実性が高い市場環境においても、一貫した「世界のベスト」の運用... P.4
- ③ 一貫した運用で、どのような株式相場でも安定したリターンを目指す「全天候型」ファンド...P.5
- ④ 足元の投資銘柄例のご紹介...P.6～7
- ⑤ 運用責任者からのメッセージ：不確実性の高い相場との向き合い方...P.8

① 「世界のベスト」の過去5年間のパフォーマンスの状況

「世界のベスト」は、世界株式に過去3年間で劣後するも、5年間では良好なパフォーマンス

- 「世界のベスト」のパフォーマンスを確認すると、年初来と過去5年の期間において、世界株式を上回りました。特定の業種や国・地域、投資テーマに偏らないポートフォリオを構築することで、相対的に長期で良好なパフォーマンスを実現してきました。
- 一方、過去1年と3年の期間では、「世界のベスト」は世界株式を下回るパフォーマンスとなりました。

世界のベスト<為替ヘッジなし>（年1回決算型）の累積リターン 2026年4月末現在



出所：インベスコ、ブルームバーグ 世界のベストは、インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>（年1回決算型）の基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）、世界株式はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み）。世界株式は、ファンドの基準日の前日の数値を用いて委託会社で円換算しています。パフォーマンスは、基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）の累積リターンです。四捨五入の関係で、差が一致しない場合があります。インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>（年1回決算型）とその他のファンドの設定来の運用実績は9、10ページをご参照ください。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

①「世界のベスト」の過去5年間のパフォーマンスの状況（つづき）

- 2023年以降の「世界のベスト」と世界株式のパフォーマンスを細分化して見てみると、「世界のベスト」は2023年から2025年上半期にかけて良好なパフォーマンスだったものの、2025年下半期に世界株式を大きく下回りました。
- 2025年下半期において、「世界のベスト」は、①AI関連銘柄が急騰する中で、AI関連銘柄が非保有または低位の組み入れにとどまったこと、②3iグループやノボ・ノルディスクなど一部の組み入れ銘柄が大幅に下落したことなどから、世界株式に劣後しました。
- その後、2026年初来では、「世界のベスト」は世界株式を上回っています（2026年4月末現在）。

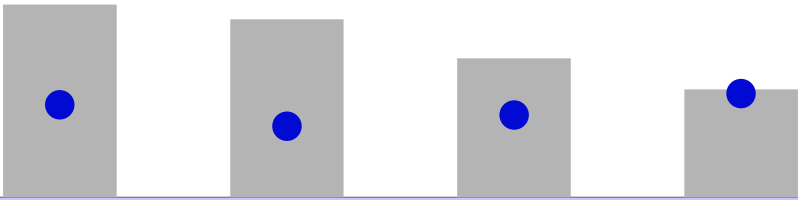
2023年以降の期間における「世界のベスト」と世界株式のパフォーマンスと要因

	2023年～2025年上半期 (2022年12月末～2025年6月末)	2025年下半期 (2025年6月末～2025年12月末)	2026年初来 (2025年12月末～2026年4月末)
世界のベスト ＜為替ヘッジなし＞ (年1回決算型)	78.5%	10.7%	6.6%
(ご参考) 世界株式	74.1%	20.9%	6.3%
要因	【世界株式を上回った要因】 寄与銘柄： ロールス・ロイス・ホールディングス、 3iグループ、ブロードコムなど	【世界株式を下回った要因】 ①AI関連銘柄の非保有や低位 組み入れなど ②3iグループ、ノボ・ノルディスク などの下落	【世界株式を上回った要因】 寄与銘柄： テキサス・インスツルメンツ、 デル・テクノロジーズ、XPOなど

過去5年間は同カテゴリー・ファンド対比で上位5%以内（7位／147本）のパフォーマンス

- 「世界のベスト」は、モーニングスターの同カテゴリーのファンドと比較して、過去5年間で上位5%以内（7位／147本）と相対的に良好なパフォーマンスとなっています。

同カテゴリー・ファンドとのパフォーマンス比較* モーニングスターカテゴリー・ランキング 2026年4月末現在



	年初来	1年	3年	5年
● 世界のベスト ＜為替ヘッジなし＞ (年1回決算型)	137位 (上位52%)	146位 (上位60%)	78位 (上位41%)	7位 (上位5%)
■ 同カテゴリー内 ファンド数合計	262本	242本	189本	147本

【上段表】出所：インベスコ、ブルームバーグ 世界のベストのパフォーマンスは、インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）、世界株式はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）。パフォーマンスは、基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）の累積リターンです。世界株式は、ファンドの基準日の前日の数値を用いて委託会社で円換算しています。世界のベストのパフォーマンス要因は、マザーファンドのポートフォリオの状況で、世界株式と相対比較したものを掲載しています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。【下段グラフ・表】出所：インベスコ、モーニングスター・ダイレクト

*分析ツールMorningstar Directが分類する「日本 オープンエンド - 外国株式・世界」カテゴリー内の為替ヘッジなしのファンドを対象として、2026年5月5日現在において確認可能な情報で比較したものです。知的財産権はMorningstarに帰属します。当資料について、巻末の「Morningstar Directを出所とするデータ・グラフについて」をご確認頂くをお願いします。

世界のベスト＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）とその他のファンドの設定来の運用実績は9、10ページをご参照ください。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

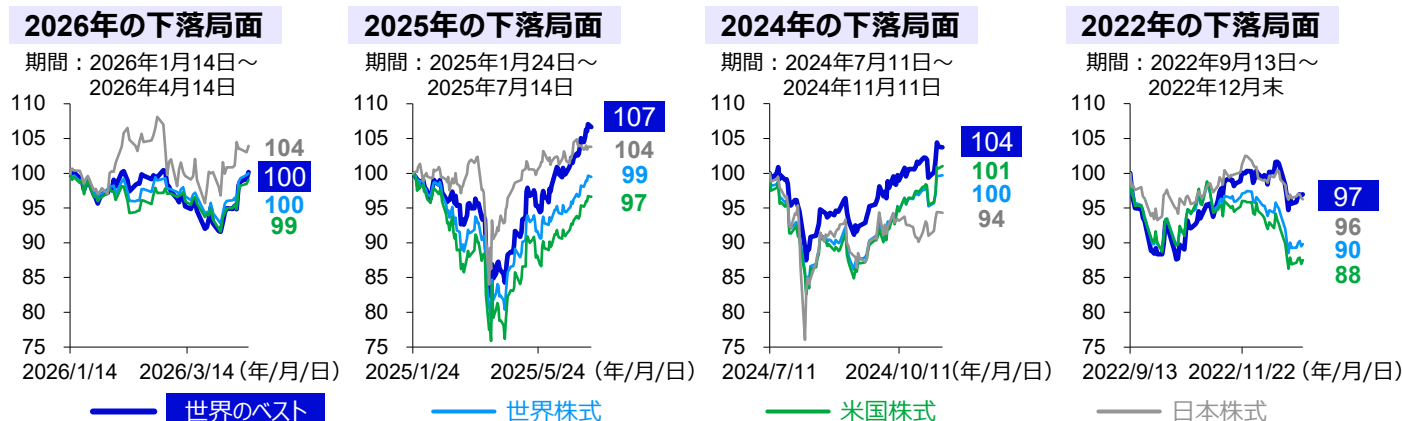
① 「世界のベスト」の過去5年間のパフォーマンスの状況（つづき）

長期で相対的に良好なパフォーマンスの要因の1つは、「市場の下落局面での下値抑制傾向」

- 過去5年間の株式市場では、2022年の米国の急速な利上げ、2024年のインフレ鈍化の遅れや米国経済の減速懸念、2025年の米国の関税政策、2026年の中東情勢の緊迫化によるインフレ・景気下押し懸念などを背景に、下落する局面がたびたびありました。「世界のベスト」は、それらの局面において世界、米国、日本の株式と比較して、**相対的に下値が抑えられる傾向**が見られました。
- これは「世界のベスト」が、以下のような運用を行っていることが背景にあります。
 - ① **ダウンサイド・リスクが小さい傾向にある「割安」銘柄と、安定したリターン源泉となる「配当」に着目していること**
 - ② **特定の業種やマクロ環境に大きく左右されない分散されたポートフォリオを構築していること**
- **長期で安定したリターンをあげるには、大きく下落しないことが重要**だと考えています。

下落局面における「世界のベスト」と主な株式市場のパフォーマンス（円ベース）

各グラフ期間の起点を100として指数化



分散されたポートフォリオで、市場と異なる銘柄からリターンを獲得

- 過去5年間のパフォーマンスに貢献した上位10銘柄を確認すると、市場ではマグニフィセント7*と呼ばれる米国の大型テクノロジー株式がパフォーマンスをけん引しましたが、「世界のベスト」はさまざまな国・地域や業種の銘柄からリターンを獲得し、世界株式を上回るパフォーマンスとなりました。

パフォーマンスへの貢献銘柄トップ10（5年間：2021年4月末～2026年4月末、円ベース）

マグニフィセント7*

世界のベスト

騰落率：147.4%

銘柄名	国	業種
1 ブロードコム	米国	情報技術
2 3iグループ	英国	金融
3 ロールス・ロイス・ホールディングス	英国	資本財・サービス
4 マイクロソフト	米国	情報技術
5 スタンダードチャータード	英国	金融
6 プロGRESS	米国	金融
7 テキサス・インスツルメンツ	米国	情報技術
8 コカ・コーラ	米国	生活必需品
9 BEセミコンダクター・インダストリーズ	オランダ	情報技術
10 チューリッヒ・インシュランス・グループ	スイス	金融

市場：世界株式

騰落率：146.4%

銘柄名	国	業種
1 エスビディア	米国	情報技術
2 アップル	米国	情報技術
3 マイクロソフト	米国	情報技術
4 ブロードコム	米国	情報技術
5 アルファベット A	米国	コミュニケーション・サービス
6 アルファベット C	米国	コミュニケーション・サービス
7 アマゾン・ドット・コム	米国	一般消費財・サービス
8 メタ・プラットフォームズ A	米国	コミュニケーション・サービス
9 イーライリリー	米国	ヘルスケア
10 エクソンモービル	米国	エネルギー

【上段グラフ】出所：インベスコ、ブルームバーグ 下落局面はMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の最高値からドローダウンが開始した日を起点とし、当該年末もしくは、世界株式が最高値を更新する前日を終点として計算。世界のベストは＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）の基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）を使用。世界株式：MSCIワールド・インデックス（米ドルベース）、米国株式：S&P500指数（米ドルベース）、日本株式：TOPIX、すべて配当込み。米ドルベースの指数は、当ファンドの基準日の前日の数値を用いて委託会社にて円換算しています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的で参考として掲載しています。世界のベスト＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）とその他のファンドの設定来の運用実績は9、10ページをご参照ください。

【下段表】出所：インベスコ、FactSet、ブルームバーグ

*「グーグルの親会社アルファベット、アップル、フェイスブック（現メタ・プラットフォームズ）、アマゾン・ドット・コム、マイクロソフト、テスラ、エスビディア」世界のベストの騰落率は＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）の基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）を使用。世界株式は、MSCIワールド・インデックスを使用（騰落率は、税引後配当込み、円換算ベースのもの。当ファンドの基準日の前日の数値を用いています）。銘柄名の後に記載のアルファベットは、議決権数の違いによる議決権種類株式の種別を示します。世界のベストは、マザーファンドのデータを使用。世界株式との相対比較ではなく、絶対値ベース寄与度の上位銘柄。国は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。ベンチマークは、＜為替ヘッジあり＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）、＜為替ヘッジなし＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

② 不確実性が高い市場環境においても、一貫した「世界のベスト」の運用

どのような局面でも成果を得られるようにリスク分散を図り、厳選した銘柄でポートフォリオを構築

- 「世界のベスト」は、ビジネスの競争優位性、財務の健全性、経営力などについて個別銘柄を徹底的に調査・分析し、株価の適正水準などの評価を行うボトムアップ・アプローチにより銘柄を厳選します。
- 運用チームでは、「成長」「配当」「割安」の3つの観点から各銘柄の今後5年間の期待リターンを算出します。期待リターンの高さだけでなく、特定の業種や国・地域、投資テーマに偏らないよう全体のバランスを勘案してポートフォリオを構築します。

厳選投資の運用プロセス

先進国の企業約20,000社*1から調査対象企業の絞り込み

ステップ1 投資アイデアの発掘

独自の分析や、チーム内でのコミュニケーションなどから生まれた投資アイデアについて、グローバルの同業他社と比較し、定量・定性面からスクリーニング

ステップ2 ファンダメンタルズ分析

さらに詳細な分析を行う銘柄を選定し、企業などと面談し、詳細なレポートや業績予想モデルを作成

ステップ3 ポートフォリオ構築

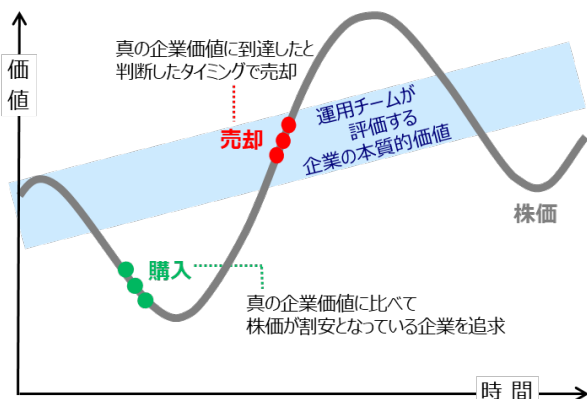
約40-50の銘柄を厳選*2

投資候補となった銘柄について、今後期待できるリターンの水準や、既存の保有銘柄との相関を勘案しながら、ポートフォリオを構築

不確実性が高い局面は、割安な優良企業の魅力的な発掘機会

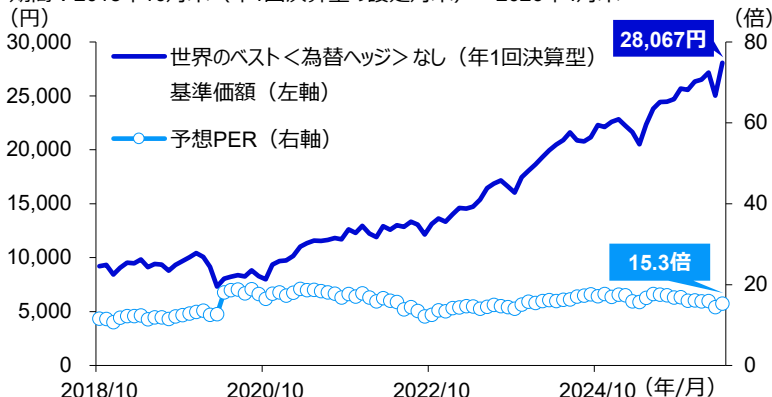
- 「世界のベスト」の銘柄選定では、コントラリアン・アプローチ、いわゆる逆張りのアプローチを重視しており、**真の企業価値と比較して株価が割高と考える銘柄を売却し、株価が割安と考える銘柄に随時入れ替え**を行います。その結果、「世界のベスト」は基準価額が上昇している中でも、**予想PER（株価収益率）は比較的安定して推移**しています。
- 運用チームでは、**不確実性が高く、市場の変動性が高い局面は、割安に放置されている優良企業を発掘できる良い機会**であると考えています。

コントラリアン・アプローチ（イメージ図）



「世界のベスト」の基準価額と予想PERの推移

期間：2018年10月末（年1回決算型の設定月末）～2026年4月末（円）



【上段図】*1 出所：WORLD FEDERATION OF EXCHANGES、LSE Group London Stock Exchange、2025年12月末現在。先進国の企業数は以下の証券取引所の上場企業数を合算することにより19,832社と算出。当数字は、以下の各証券取引所の上場企業数を合計したものであり、重複上場を考慮していません。北米：NYSE、Nasdaq、TMX Group。アジア太平洋：ASX Australian Securities Exchange、Hong Kong Exchanges and Clearing、Japan Exchange Group、Singapore Exchange。欧州：Euronext、BME Spanish Exchanges、Deutsche Boerse AG、LSE Group London Stock Exchange。
*2 ポートフォリオの銘柄数は運用状況に応じて変わります。上記運用プロセスは、2025年12月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

【下段左イメージ図】出所：インベスコ より魅力的な投資機会が見つかった場合やポートフォリオ全体のリスク水準を調整する際などには、真の企業価値に到達しない水準で売却を行うことがあります。【下段右グラフ】出所：インベスコ、FactSet グラフ中の吹き出しデータは、2026年4月末現在。予想PERは12カ月先の予想1株当たり利益に基づく値を使用。基準価額は課税前分配金再投資、信託報酬控除後です。世界のベスト＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）とその他のファンドの設定来の運用実績は9、10ページをご参照ください。
上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

③ 一貫した運用で、どのような株式相場でも安定したリターンを目指す「全天候型」ファンド

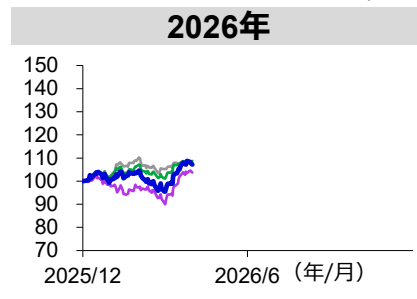
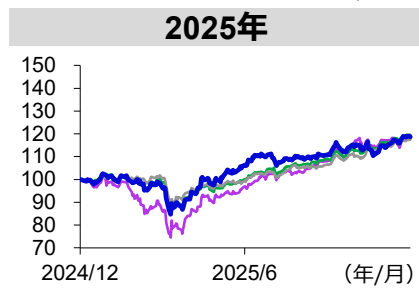
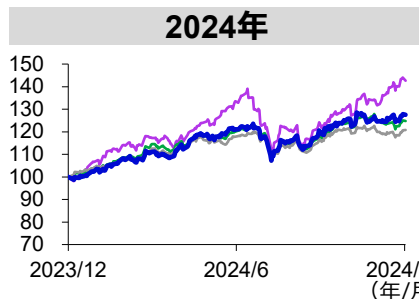
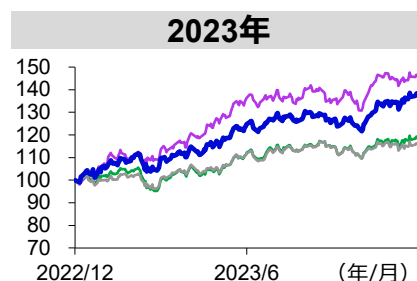
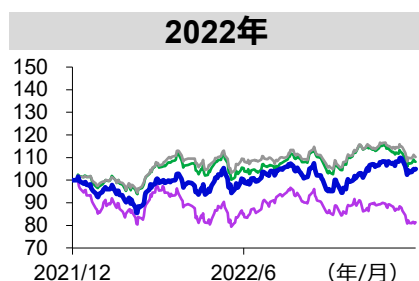
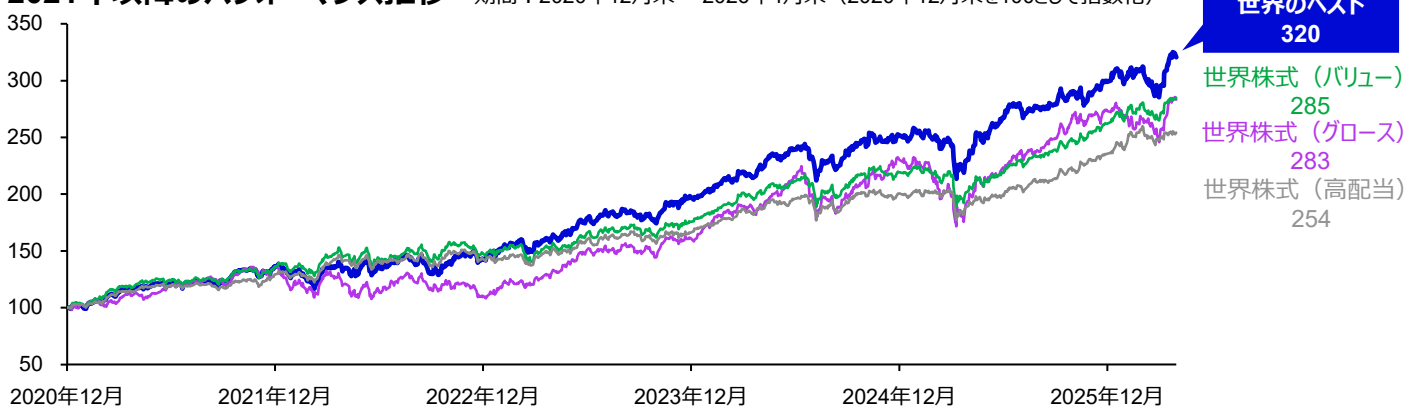
「世界のベスト」はスタイルの変化に左右されことなく、毎年安定したパフォーマンスを継続

- 「世界のベスト」は、国・地域や業種、バリューやグロースなどといった**株式のスタイルに偏らない運用**を行っています。
- 2021年以降を年次で振り返ると、年によってグロース株優勢、バリュー株優勢など市場の主役が入れ替わる状況が続きました。そのような中でも、「世界のベスト」は**スタイルの変化に左右されことなく、毎年安定したパフォーマンス**を積み重ねてきました。

世界のベストはマザーファンドのものです。世界のベストの運用戦略を市場（インデックス）と比較するためにお示しています。マザーファンドには信託報酬（年率1.903%（税込））はかかりません。実際の各ファンドの運用実績とは異なります。各ファンドの設定来の運用実績は9、10ページをご参照ください。

2021年以降のパフォーマンス推移

期間：2020年12月末～2026年4月末（2020年12月末を100として指数化）



— 世界のベスト — 世界株式（グロース） — 世界株式（バリュー） — 世界株式（高配当）

出所：ブルームバーグ、インベスコ 世界のベストはマザーファンド（信託報酬控除前）を使用。世界株式（グロース）は、MSCIワールド・グロース・インデックス（米ドルベース）、世界株式（バリュー）は、MSCIワールド・バリュー・インデックス（米ドルベース）、世界株式（高配当）は、MSCIワールド・高配当利回り・インデックス（米ドルベース）。すべて配当込み。当ファンドの基準日の前日の数値を用いて委託会社にて円換算しています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的で参考として掲載しています。ベンチマークは、＜為替ヘッジあり＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）、＜為替ヘッジなし＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。

【下段グラフの期間】2021年：2020年12月末～2021年12月末（2020年12月末を100として指数化）、2022年：2021年12月末～2022年12月末（2021年12月末を100として指数化）、2023年：2022年12月末～2023年12月末（2022年12月末を100として指数化）、2024年：2023年12月末～2024年12月末（2023年12月末を100として指数化）、2025年：2024年12月末～2025年12月末（2024年12月末を100として指数化）、2026年：2025年12月末～2026年4月末（2025年12月末を100として指数化）

上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

④ 足元の投資銘柄例のご紹介

3iグループ

英国／金融

企業概要

- プライベート・エクイティ、インフラ関連などにフォーカスした投資会社。1945年設立、80年以上の歴史を誇る
- オランダの雑貨・食品ディスカウントチェーンの「アクション」などの生活必需品セクターの非上場企業を中心に保有

投資の着目点（アクション）

－現保有の投資開始時期：2020年10月－

【成長】

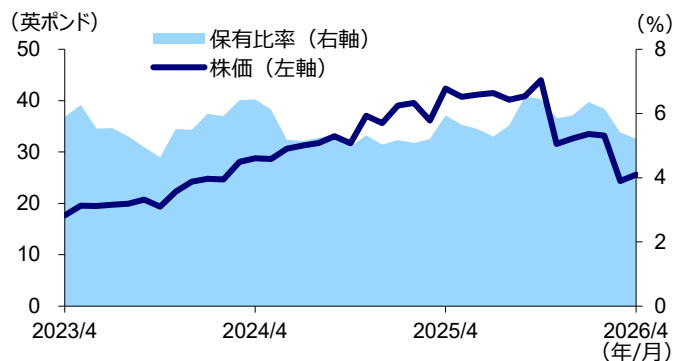
- 選択と集中を徹底した効率的な品揃えにより、高い価格競争力を実現。売場の約半分を毎年更新し、「安さ」と「新しさ」を両立
- 欧州全域で分散した成長を遂げている点を評価
- 欧州で約3,300店舗を運営。年間300～400店舗規模の新規出店を継続し、更なる拡大余地を見込む。米国市場への進出も検討。2028年までに店舗展開を開始予定
- 3iグループの株価は足元で軟調な傾向となっているものの、アクションの新規出店による中長期の収益拡大への期待は不変

【配当】配当利回り：3.1% 【割安】予想PER：4.7倍



株価と組入比率の推移

期間：2023年4月末～2026年4月末



デル・テクノロジーズ

米国／情報技術

企業概要

- 企業向けITインフラと個人・法人向けPCを展開する米国の大手テクノロジー企業
- AIインフラ（サーバー・ネットワーク・ストレージ）を総合提供するISG事業を展開

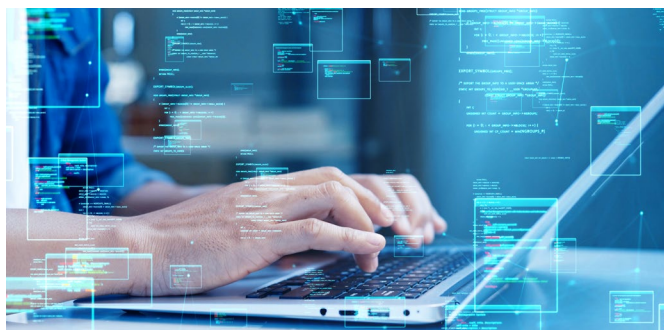
投資の着目点

－現保有の投資開始時期：2025年10月－

【成長】

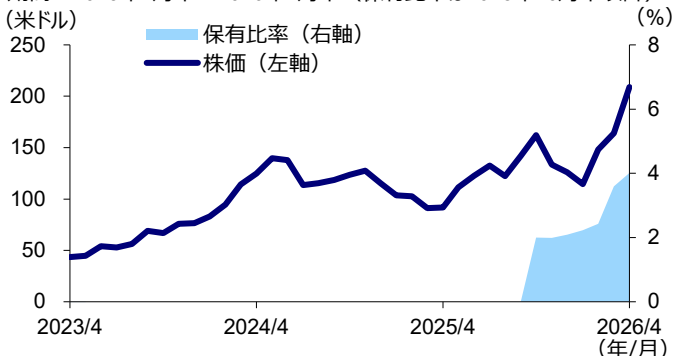
- 設計から運用までワンストップで対応、顧客の導入・運用負担を大幅に軽減
- 高い品質と信頼性、強いブランド力から大企業を中心とした安定した顧客基盤を構築。継続的なAI投資需要を取り込みやすいビジネスモデル
- 資本効率重視の経営と積極的な株主還元姿勢（自社株買い、増配傾向）も評価

【配当】配当利回り：1.2% 【割安】予想PER：15.8倍



株価と組入比率の推移

期間：2023年4月末～2026年4月末（保有比率は2025年10月末以降）



出所：インベスコ、ブルームバーグ、FactSet、企業公開情報

国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。組入比率は対純資産比です。配当利回り、予想PERは2026年4月末現在、予想PERは来年度の予想1株当たり利益に基づく値を使用。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は運用チームによる2026年4月末現在における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。画像はイメージです。

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

④ 足元の投資銘柄例のご紹介（つづき）

テキサス・インスツルメンツ



米国／情報技術

企業概要

- 1930年設立、世界最大級のアナログ半導体メーカー
- 産業機器・自動車・通信機器など幅広い分野向けに製品を提供

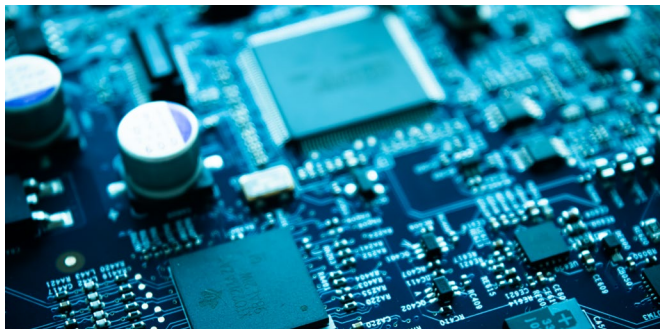
投資の着目点

－ 現保有の投資開始時期：2019年10月 －

【成長】

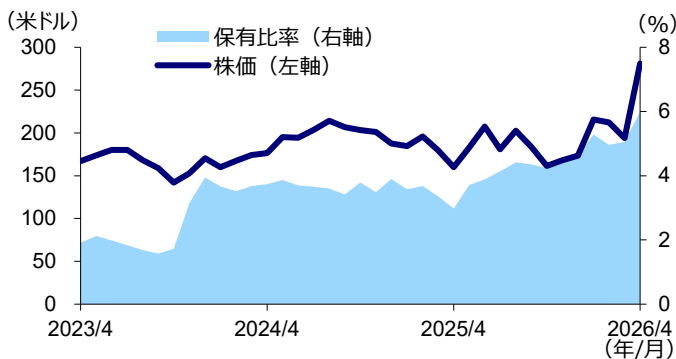
- 長年にわたり築いた知的財産権と幅広い製品ポートフォリオに強み
- データセンターや自動運転、医療機器に不可欠な電源管理・制御分野を担うアナログ半導体を提供。AIインフラ投資拡大の構造的な恩恵を享受
- 半導体セクターのなかでも業績の安定性と高いキャッシュフロー創出力、それによる積極的な株主還元姿勢を評価

【配当】配当利回り：2.0% 【割安】予想PER：35.2倍



株価と組入比率の推移

期間：2023年4月末～2026年4月末



スタンダードチャータード



英国／金融

企業概要

- アジア・アフリカ・中東地域などの新興市場に強みを持つ英国の銀行

投資の着目点

－ 現保有の投資開始時期：2020年1月 －

【成長】

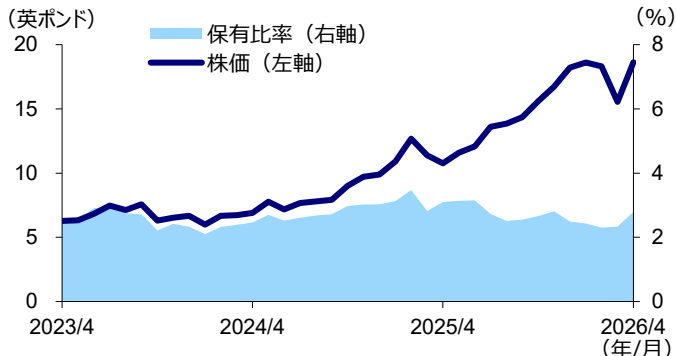
- 新興国市場の成長を取り込む強固な事業基盤
- 現CEO（最高経営責任者）のもとで、コスト削減やリスク管理強化、デジタル化などの改革を推進、ROE（自己資本利益率）やコスト効率が改善
- アジアを中心とした富裕層の増加を背景に、高収益なウェルスマネジメント事業が拡大、構造的な成長の恩恵を享受

【配当】配当利回り：2.4% 【割安】予想PER：10.3倍



株価と組入比率の推移

期間：2023年4月末～2026年4月末



出所：インベスコ、ブルームバーグ、FactSet、企業公開情報

国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。組入比率は対純資産比です。配当利回り、予想PERは2026年4月末現在、予想PERは来年度の予想1株当たり利益に基づく値を使用。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は運用チームによる2026年4月末現在における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。画像はイメージです。

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

⑤ 運用責任者からのメッセージ：不確実性の高い相場との向き合い方

大きなリスクは、相場変動ではなくマーケットからの離脱。投資の継続が重要

- 運用チームでは、今後もトランプ政権による経済・外交政策、金利・インフレ動向、各中央銀行の金融政策、地政学リスクの台頭等を背景に、不確実性の高い相場が続くとみています。**不確実性の高い相場において、投資家にとっての最大のリスクは、株式市場の下落ではなく、不適切なタイミングで投資をやめてしまうことだと考えています。**
- 2020年末から2025年末の期間において、「世界のベスト」の代表戦略のパフォーマンスと同期間内で最も上昇した10日間のリターンを除外したパフォーマンス（下段グラフご参照）を比較してみると、**わずか10日間の上昇を逃しただけで、大きな差が生じています。**
- この最も上昇した10日間は、ロシアのウクライナ侵攻、トランプ政権による相互関税ショックなど、**金融市場に不確実性が高まり、投資を迷ってしまう局面に集中しています。**こうした局面こそ、一貫した投資哲学の下、運用者も投資家も投資を継続することが重要であると考えています。

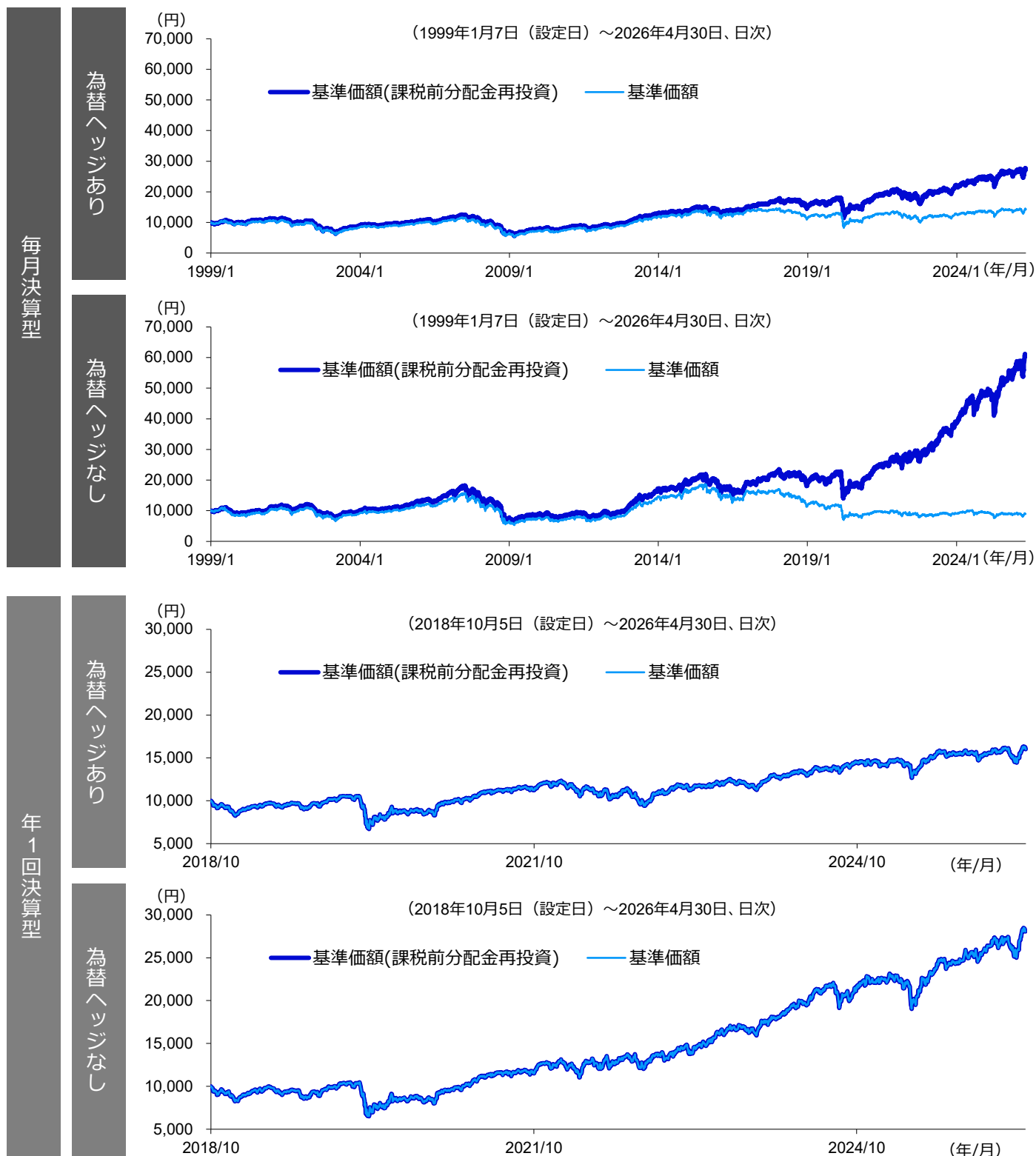
「世界のベスト」の代表戦略のパフォーマンス推移（米ドルベース）

期間：2020年12月末～2025年12月末（2020年12月末を10,000として指数化）



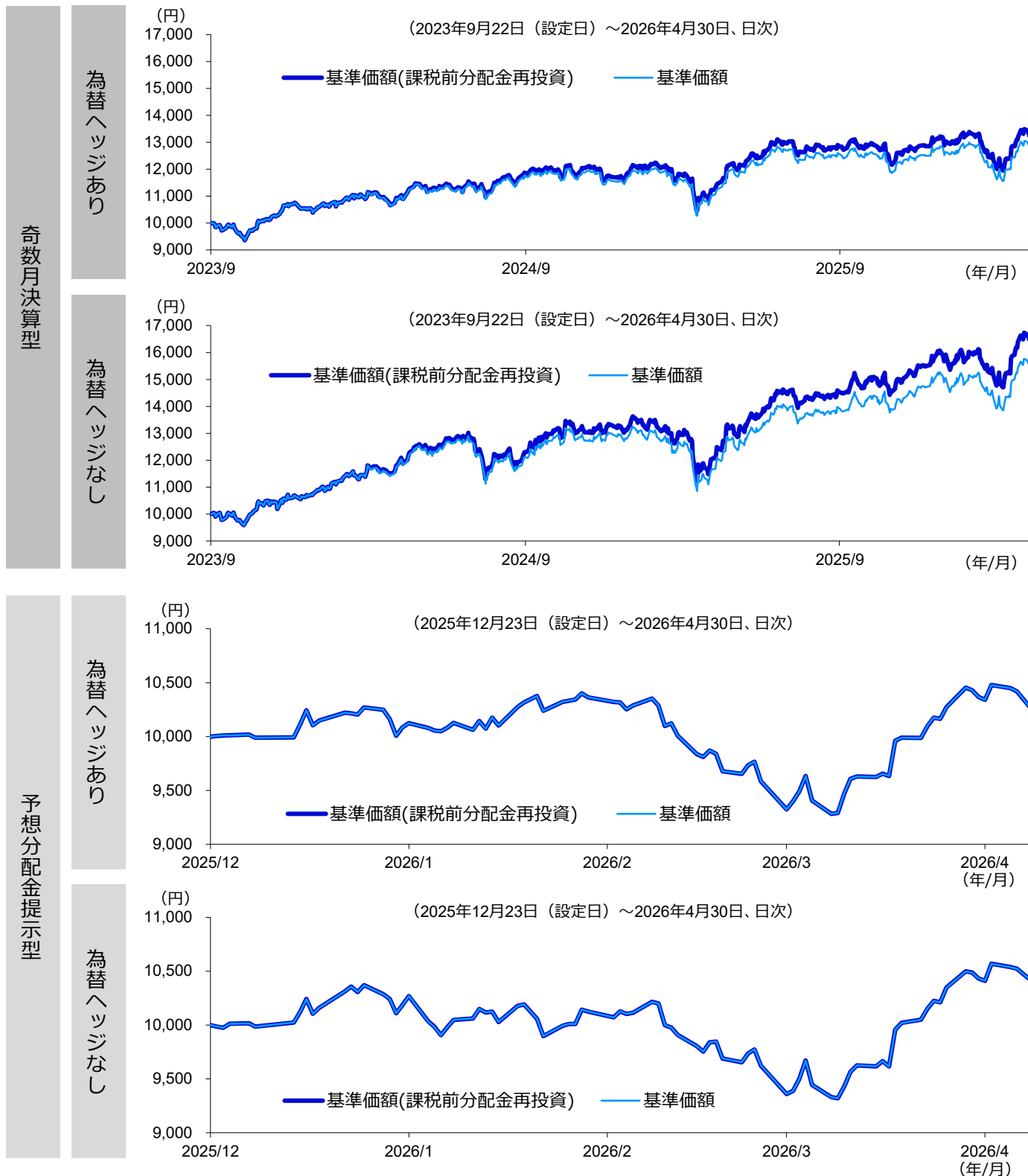
インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

設定来の基準価額の推移



インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

設定来の基準価額の推移 (つづき)



インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

「世界のベスト」のポイント

「株式投資の王道」にこだわって世界のベストに厳選投資

日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自の視点で厳選した世界のベストと考える銘柄に投資を行います。「成長」+「配当」+「割安」の3つの観点に着目して投資を行うことを、当ファンドでは「株式投資の王道」と考えています。



日本において「25年超の運用実績」を誇る世界株式ファンド

「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）」は、1999年1月に設定され、2016年9月に決算頻度を毎月決算に変更、2017年1月より毎月分配を行っています。

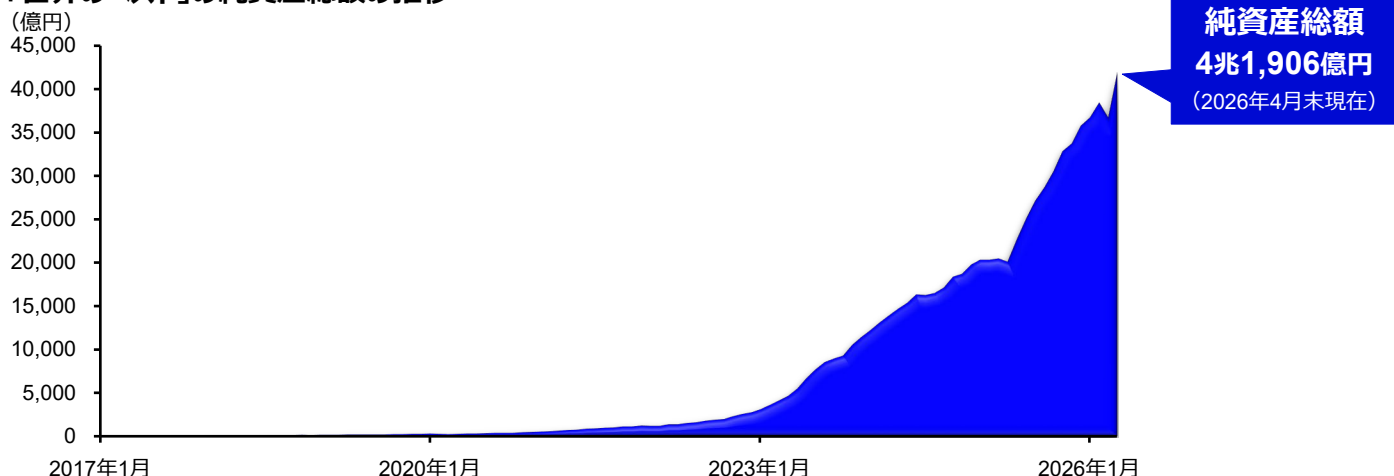
また、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）」は2018年10月に、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（奇数月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（奇数月決算型）」は2023年9月に、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（予想分配金提示型）／＜為替ヘッジなし＞（予想分配金提示型）」は2025年12月に設定されました。

※販売会社によっては一部のファンドのみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

9年超（112カ月）連続での純資金流入*を記録

「株式投資の王道」にこだわり長期の運用実績を誇る「世界のベスト」は、9年超（112カ月）連続での純資金流入を記録しました。また、純資産総額は4.1兆円に到達しました（2026年4月末現在）。

「世界のベスト」の純資産総額の推移



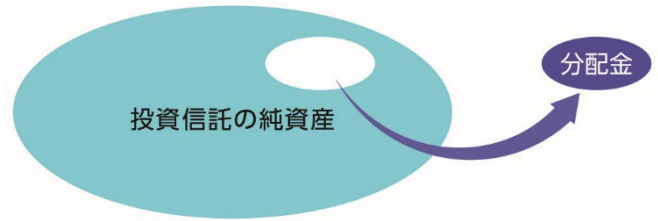
* 純資金流入は、ファンドの設定額から解約額を差し引いたもの。純資金流入の連続記録は、2017年1月から2026年4月まで（月次データ）。
出所：インベスコ グラフ期間：2017年1月末～2026年4月末、月次データ
世界のベストの純資金流入および純資産総額データは、8ファンドの合計です。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

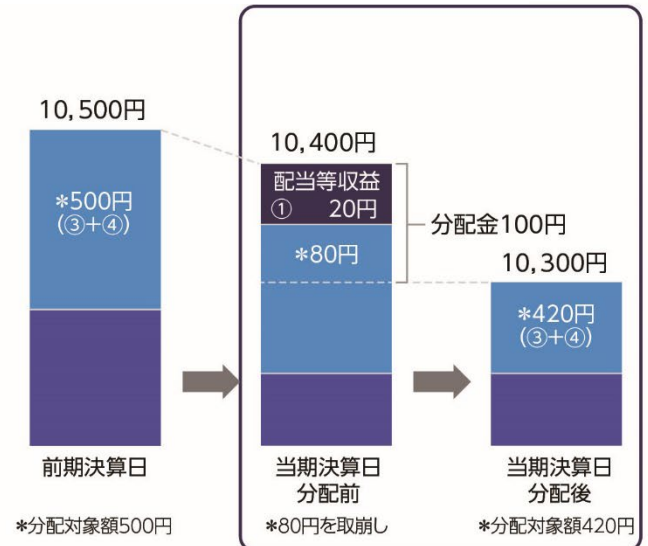
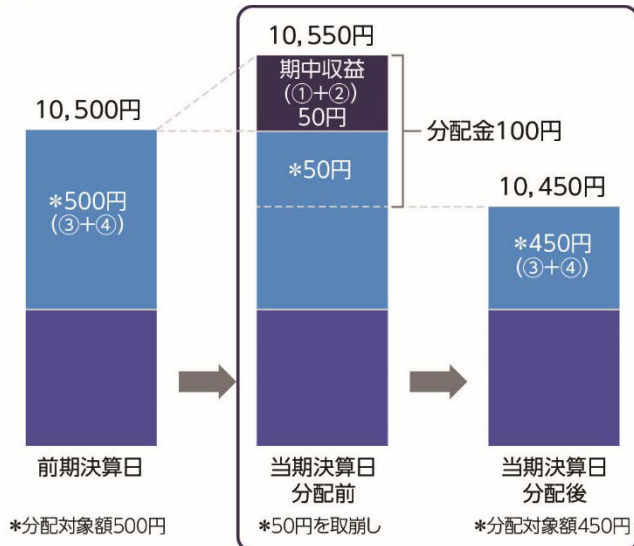


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合

■ 前期決算日から基準価額が下落した場合

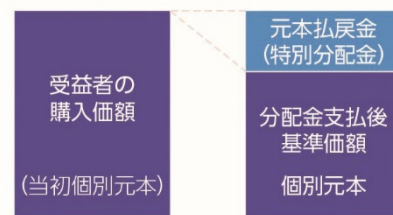
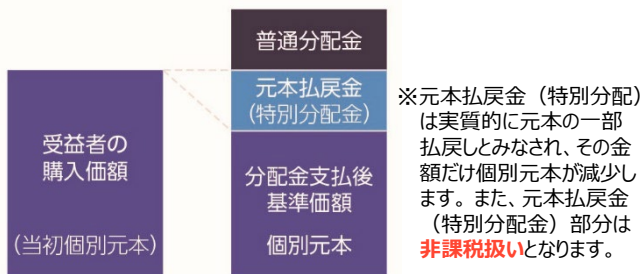


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額の変動要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク	〈株式〉株価の下落は、基準価額の下落要因です。 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。
信用リスク	発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。 ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。
為替変動リスク	〈為替ヘッジあり〉為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。 為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。 〈為替ヘッジなし〉為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。 為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンド固有の留意点

- ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。

投資信託に関する留意点

- ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
- ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。
- マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入る有価証券等の売買が行われた場合などには、組入る有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

設定・運用は

商号等 : インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会
日本証券業協会

〈ファンドに関する照会先〉

ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインベスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。
お問い合わせダイヤル 03-6447-3100
【受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです】
ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、「自動けいぞく投資コース」と「一般コース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	■ 毎月決算型：無期限（設定日：1999年1月7日） ■ 年1回決算型：無期限（設定日：2018年10月5日） ■ 奇数月決算型：無期限（設定日：2023年9月22日） ■ 予想分配金提示型：無期限（設定日：2025年12月23日）
決算日	■ 毎月決算型：毎月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ 年1回決算型：毎年12月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ 奇数月決算型：毎年1、3、5、7、9、11月の各23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ 予想分配金提示型：毎月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）
収益分配	■ 毎月決算型：毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ 年1回決算型：年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ 奇数月決算型：年6回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ 予想分配金提示型：毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 * 自動けいぞく投資コースでお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となります。毎月決算型および予想分配金提示型は、NISAの対象ではありません。年1回決算型と奇数月決算型は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める 3.30%（税抜3.00%）以内 の率を乗じて得た額。
信託財産留保額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.30% の率を乗じて得た額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	日々の投資信託財産の純資産総額に年率1.903%（税抜1.73%）を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、以下の支払時期に投資信託財産中から支払われます。 ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了時。 ■ 奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 予想分配金提示型：毎計算期末または信託終了時。
その他の費用・手数料	・ 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ・ 監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限として、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。 ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了時。 ■ 奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 予想分配金提示型：毎計算期末または信託終了時。

※上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2026年6月18日現在

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会	毎月 決算型 取り扱い 販売会社	年1回 決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社	予想 分配金 提示型 取り扱い 販売会社
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○	○	○	○	○
株式会社あいち銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○		○		○	○		
株式会社あおぞら銀行※4	登録金融機関	関東財務局長(登金)第8号	○		○		○	○	○	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○			○	○	○	○
阿波証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第1号	○				○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○				○	○		
株式会社伊予銀行※5	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○		○			○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○		○	○	○	
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○	○	○	○	
株式会社大垣共立銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○		○	○		
OKB証券株式会社※3	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○				○	○		
岡崎信用金庫※6	登録金融機関	東海財務局長(登金)第30号	○				○		○	
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○				○	○	○	
おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○				○	○		
株式会社沖縄銀行※3	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第1号	○				○	○		
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○				○	○	○	
株式会社関西西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○		○		○	○		
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第117号	○		○		○	○	○	
木村証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第6号	○				○	○		
九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第18号	○					○		
京銀証券株式会社※3	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第392号	○				○	○		
株式会社京都銀行※3	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第10号	○		○		○	○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○			○	○	○	○	
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3198号	○				○	○		
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○					○		
ぐんぎん証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○				○	○		
株式会社千葉銀行※3	登録金融機関	関東財務局長(登金)第56号	○				○	○		
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○		○		○	○		
株式会社佐賀銀行※3	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○		○		○	○		
篠山証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第16号	○				○	○	○	
株式会社三十三銀行※8	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○				○	○		
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○	○			○	○	○	
四国アライアンス証券株式会社※5	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○					○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○		○			○		
株式会社静岡中央銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第15号	○				○	○		
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第8号	○				○	○		
静岡ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○				○	○		
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○				○	○		

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※4 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※5 <為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※6 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※7 <為替ヘッジあり>（毎月決算型）／<為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジあり>（年1回決算型）／<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※8 <為替ヘッジあり>（年1回決算型）の新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※9 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）、<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）および<為替ヘッジなし>（予想分配金提示型）のみ取り扱いを行います。*一般社団法人日本STO協会に加入

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2026年6月18日現在

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会	毎月 決算型 取り扱い 販売会社	年1回 決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社	予想 分配金 提示型 取り扱い 販売会社
株式会社清水銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第6号	○			○	○		
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○				○		
株式会社十六銀行※4	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○	○	○	○	
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○	○		○	○	○	
信金中央金庫※3	登録金融機関	関東財務局長(登金)第258号	○			○	○		
株式会社スマートプラス	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3031号	○	○	○	○	○		
スルガ銀行株式会社※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○			○	○		
損保ジャパン D C 証券株式会社(確定拠出年金のみの取り扱い)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第106号	○			○			
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第1号	○			○	○		
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○		○		
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			○	○		
株式会社大東銀行※3	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			○	○		
大和証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○	○		
大和コネット証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3186号	○			○	○		
株式会社但馬銀行※3	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○			○	○		
立花証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第110号	○		○	○	○	○	
株式会社筑邦銀行※3	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第5号	○			○	○		
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○			○	○	○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○		○	○	○		
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○	○	○		
株式会社筑波銀行※4	登録金融機関	関東財務局長(登金)第44号	○			○	○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○	○		
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○		○	○	○		
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○			○	○		
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	○			○	○		
株式会社富山銀行※4	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			○	○	○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○	○	○	○	
株式会社名古屋銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○			○	○		
南都まほろ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			○	○	○	○
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			○	○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	○	○		
日本生命保険相互会社(確定拠出年金のみの取り扱い)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第36号	○			○			
ニース証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第138号	○	○		○	○		
野村證券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○			
株式会社肥後銀行(確定拠出年金のみの取り扱い)※2	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			○	○		
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			○	○	○	
株式会社広島銀行※4	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○		○	○	○	○	

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※4 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※5 <為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※6 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※7 <為替ヘッジあり>（毎月決算型）／<為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジあり>（年1回決算型）／<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※8 <為替ヘッジあり>（年1回決算型）の新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※9 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）、<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）および<為替ヘッジなし>（予想分配金提示型）のみ取り扱いを行います。*一般社団法人日本STO協会に加入

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2026年6月18日現在

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回決算型 取り扱い 販売会社	奇数月決算型 取り扱い 販売会社	予想 分配金 提示型 取り扱い 販売会社
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○		○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	○	○		
PayPay証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2883号	○			○	○		
株式会社北陸銀行※3	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			○	○		
株式会社みずほ銀行※1	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○			
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○	○		
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	○	○	
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	○	○	
三菱UFJ J 信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	○	○	○	
三菱UFJ J モルガン・スタンレー証券株式会社*	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	○	○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		○	○		
株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○		○	○	○		
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		○	○	○	
株式会社武蔵野銀行※3	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			○	○		
めぶき証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			○	○		
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第12号	○		○	○	○	○	
株式会社山形銀行※3	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			○	○		
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第6号	○		○	○	○	○	
豊証券株式会社※9	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第21号	○			○	○	○	○
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○		○	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○	○	
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○	○	○		
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			○	○		

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※4 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※5 <為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※6 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※7 <為替ヘッジあり>（毎月決算型）／<為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジあり>（年1回決算型）／<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※8 <為替ヘッジあり>（年1回決算型）の新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※9 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）、<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）および<為替ヘッジなし>（予想分配金提示型）のみ取り扱いを行います。*一般社団法人日本STO協会に加入

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）：以下は、取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2026年6月18日現在

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会	毎月 決算型 取り扱い 販売会社	年1回 決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社	予想 分配金 提示型 取り扱い 販売会社
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				○	○	○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券、マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		○	○	○	
株式会社京都銀行(委託金融商品取引業者 京銀証券株式会社)※3	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第10号	○		○		○	○		
株式会社きらぼし銀行（委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○		○	○		
呉信用金庫※3	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号					○	○		
埼玉県信用金庫※2	登録金融機関	関東財務局長(登金)第202号	○				○			
株式会社常陽銀行(委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)※3	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○		○	○		
株式会社肥後銀行（委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社）	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○					○		
株式会社三菱UFJ銀行（委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	○	○	○	
株式会社UI銀行（委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社）（オンラインサービス専用）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第673号	○				○	○		

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。 ※2 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。 ※3 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。 ※4 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。 ※5 <為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。 ※6 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。 ※7 <為替ヘッジあり>（毎月決算型）／<為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジあり>（年1回決算型）／<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。 ※8 <為替ヘッジあり>（年1回決算型）の新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。 ※9 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）、<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）および<為替ヘッジなし>（予想分配金提示型）のみ取り扱いを行います。*一般社団法人日本STO協会に加入

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

当ファンドの呼称等について

当資料では、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）」、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）」、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（奇数月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（奇数月決算型）」および「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（予想分配金提示型）／＜為替ヘッジなし＞（予想分配金提示型）」を総称して「当ファンド」または「世界のベスト」という場合があります。また、決算頻度に応じてそれぞれ「毎月決算型」、「年1回決算型」、「奇数月決算型」、「予想分配金提示型」、為替ヘッジの有無に応じてそれぞれ「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」の呼称を使う場合があります。

当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社および関連会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。

【Morningstar Directを出所とするデータ・グラフについて】

© 2026 Morningstar. All Rights Reserved. ここに含まれる情報は、(1)Morningstar および/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、(2)複写または配布してはならず、(3)ライセンサーおよび Morningstarが提供する投資等の助言ではなく、(4)正確性、完全性または適時性を保証するものではありません。Morningstar、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンおよびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

【当資料のお取り扱いにおけるご注意】

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。